

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 金沢市立内川小中学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中等教育学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他 ( )

住所 〒920-1341 金沢市別所町中18

E-mail : uchikawa-e@city.ed.jp/uchikawa-j

Website : http://cms.kanazawa-city.ed.jp/uchikawa-j/

児童生徒数：男子 27 名 女子 23 名 合計 50 名  
 児童・生徒の年齢 6 歳～15 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

#### 小学校3年生

- ・校区にある植物（カタクリ、たけのこ、山菜など）を観察し詳しく調べたり、季節ごとの壁新聞を作ることで内川の植物の四季の変化に気づくことができた。

#### 小学校4年生

- ・自然資料館の方をゲストティーチャーに招き、校区に群生する竹の種類や成長の様子を聞き、新聞にまとめた。たけのこの成長には、内川の土質が生育に適していることや地域の方がまめに手入れをすることが、おいしいたけのこを作るのに大切だということを知った。

#### 小学校5年生

- ・カタクリの花を観察し、種類や生態、特徴などについてまとめた。カタクリの花が咲くためには、きれいな水が必要だということを知り、内川の自然のすばらしさを再認識することができた。また、内川の環境について気になることを話し合い、その環境が悪くなっていることや原因についてまとめることで、自分たちの地域を大切にしたいという思いを持つことができた。

#### 小学校6年生

- ・内川在住の優れた技を持つ名人にインタビューを行い、内川の魅力を伝える作品を作成した。また、内川の歴史について図書館の資料を調べ、地域の方に取材したことをまとめ、プレゼン資料を作成し、全校生徒に発表を行うとともに、医王山小学校との交流活動の中でも内川の紹介を行うなかで、内川の良さを再認識することができた。

#### 中学校全学年

- ・毎年生徒会の主催で、地域の特産物であるたけのこを使った委員会対抗の「たけのこ創作料理大会“たけのこ合戦”」を行っている。校舎横の竹林からたけのこを掘るところから始め、委員会ごとに趣向を凝らした創作料理を作り、地域の方にも審査していただいている。また毎年、地域のイベントである「たけのこまつり」やPTA行事である花いっぱい運動、クリーンキャンペーン等に全校で参加することで、内川の自然の豊かさや、地域の方たちと協力することの大切さを学んでいる。
- ・国際交流員を招き、アメリカの文化について理解を深め、アメリカ人と日本人の相違点などを聞き、互いに理解することの大切さを学んだ。
- ・地域の自然を生かしクロスカントリースキーに取り組み、積極的に大会へも参加した。

#### 中学校1年生

- ・金沢市内の歴史的建造物や文化施設について調べ、フィールドワークを行い理解を深めた。

#### 中学校2年生

- ・金沢の伝統工芸についての調べ学習やフィールドワークを通して、金沢の文化の素晴らしさを感じることができた。

#### 中学校3年生

- ・『金沢の姉妹都市と国際都市「金沢」を探る』というテーマで、金沢の姉妹都市について調べた。フィールドワークでは、外国人にインタビューした

り、国際交流センターで韓国や中国の方から話を聞いたりするなど、金沢と外国とのつながりについて理解を深めた。

(2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他 ( )